



丹那小だより

函南町立丹那小学校
令和5年2月発行

丹那の学びを通して 人と人が 人と地域が つながる学校へ

土屋貴俊

毎朝、低学年の子供たちは冬探しに夢中です。そんな中校庭の梅の木には、紅や白の可憐な花が咲いています。ぽつりぽつりと花が開き、一日一日春の訪れを告げているようです。

さて令和5年8月14日丹那小学校は、創立150年を迎えます。明治6年法輪寺を仮使用して函南学校第一支校丹那学舎として児童数80名で始まりました。校名を何度か変え、昭和22年に函南村(町)立丹那小学校となってからの75年間で2528名の児童が卒業していきました。

平成29年にはコミュニティ・スクールとして函南町より指定され、地域と共にある学校づくりがスタートしました。本校は、元々地域の皆様に支えられていた学校でしたので、今までであった活動とその理念をつないで、組織化し目標「地域との協働を通して地域も学校も活性化する」を共有することを重点に置いて活動してきました。

それ以来子供たちは「地域との協働」をねらった丹那の人や自然にふれるミッションを通して、以下のように大きく成長し、他者との協働の楽しさを味わってきました。



丹那駐在所の石津川さんから110番のかけ方について学びました

「玄岳遠足」では、保護者や地域の皆様に温かく見守ってもらうことで子供たちは最後までやり抜く勇気をもらい、上学年の子供は下級生をいたわる思いやりが生まれました。

「オール丹那運動会」では、たくさんの方に演技を見ていただき、賞賛の言葉をもらいました。それが次の原動力となる達成感につながりました。挑戦する気持ちが育っています。

「自給自足DAY」では、地域の皆さんの手ほどきとご協力のおかげで丹那の自然の恵みを味わうことができました。また、人間の思い通りにならない自然の厳しさも知りました。

このようなミッションだけでなく、本校はDreamサポーターによる学校支援、見守り隊による登校指導等様々な活動でたくさん応援してもらっています。感謝申し上げます。

丹那小学校は、令和5年度創立150年を機に子供たちも地域コミュニティの一員として、地域に積極的に参画し、地域とつながり続け、地域の未来をつくっていける子供の育成を目指します。そのために以下のように教育課程を変更させていただきます。

◎4年生 5年生の桑村小学校と共同開催の自然教室(隔年で海と山の体験をしていました)

↓ 変更点

隔年で「防災キャンプ」と「海の体験」を行います。防災キャンプ実施の年(R5)は、丹那小学校単独で校内に宿泊しながら行います。地震や土砂災害等いつどんな災害が発生するか分からない時代です。地域の皆様と一緒に防災・減災について考えられる子供・有事の際は何らかの貢献をしようとする子供に育て欲しいと願います。今後消防団をはじめ地域の皆様には、お願いすることがあると思いますがご協力をお願いします。

その他の教育課程の変更点については、3月号でお知らせいたします。